

茨城空港、 2010年3月開港！



アジアナ航空就航決定

茨城↔ソウル(仁川)便就航！

首都圏第3の空港として重要な役割を果たすことが期待される「茨城空港」。

韓国のアジアナ航空が茨城空港への就航を表明しました。ソウル便を1日1便運行するほか、開港数カ月後に週3便程度の釜山便運行も計画しています。アジアナ航空の路線開設により、韓国との相互交流の活性化が期待されています。

出発・到着の移動がラクラク

現在建設中の旅客ターミナルビルは、出発・到着ロビーを一階に集約して、短時間で移動できる構造になっています。



旅客ターミナルビル
内のイメージ図▶



▲茨城空港イメージ図

**P 駐車場 1,300台
何日でも無料！**

茨城空港では、ターミナルビルの目の前に1,300台の無料駐車場を用意しています。

空港までスムーズにアクセスできることはもちろん、重い荷物があっても車なら苦になりません。

応援しています！ 耕作放棄地の

農地復元



市が、耕作放棄された農地を肥沃な大地に復元させるため取り組んでいる3つの施策

農業を始めたい、規模を拡大したい方を応援！
農用地利用銀行

将来がすみがうら市の特産物となるような作物を作付しよう！
新作物作付支援

耕作されていない農地を代わりに再生しよう！
耕作放棄地再生利用支援



農 ご利用ください

農用地利用銀行とは、耕作ができない農地を農業委員会の台帳へ登録しておき、その農地を借りたいという方へ紹介する制度です。

高齢や担い手不足により農地の耕作ができない、農地の借り手が見つからないなどから、耕作放棄地になる前に、新しい作り手を探してみませんか。

農地をお持ちの方へは、今後、農地をどのように利用されるかなどの意向調査を行います。耕作ができない農地などがありましたらお申し出ください。

圃農業委員会事務局
☎内線2702・2703

耕 作放棄地の積極的 な耕作を支援！

耕作されていない荒れた農地を、所有者に代わって耕作しようとする農業者(団体)

新 作物の植栽を 支援！

市では、将来的に市の特産物となるような作物(ブルーベリー・イチジク・ミカンなどの永年性作物)を畑地などに植栽する方に対し、事業費の助成を行います。「耕作放棄地対策」と同様、遊休農

に対し「耕作放棄地再生利用緊急対策事業」として、国と市が助成をします。対象となるのは、次の①～③の事業に係る費用です。

①再生利用活動へ助成

障害物除去、深耕、整地などの再生事業をした場合、廃の程度に同じ、10アール当たり4万5千円、または7万5千円を助成します。

また、肥料、有機質資材の投入などの土壌改良をした場合、10アール当たり3万7千5百円を助成します。

さらに、営農定着交付金として、10アール当たり3万7千5百円を助成します。

②施設などの補完整備へ助成

用排水施設、鳥獣被害防止



地の解消を図り農業の活性化を促進させるねらいがあります。

対象は、永年性作物を10アール以上植栽し、農業の活性化を促進しようとする方です。10アール当たり4万5千円を限度に、作物の種子、苗木や資材代として、事業費の2分の1を助成します。

施設、直売所・加工施設、市民農園などの整備に対し、事業費の2分の1を助成します。

③集積上乘せ補助

1ヘクタール以上かつ3筆以上の農地について、再生作業を行なった場合、10アール当たり1万円を助成します。

「助成を受けるための要件」
(1)再生利用活動の取り組み初年度から5年間以上の耕作が見込まれること。

(2)利用権設定(使用貸借、賃借)、農作業受委託契約などの手続きによること。

(3)農振農用地区域内の農地であること。

圃かすみがうら市地域耕作放棄地対策協議会(事務局)・農林水産課内 ☎内線2504

ご希望の方は、7月30日までに申し込みください。
圃農林水産課 ☎内線2504

